



静内ロータリークラブ会報

2014～2015年度
会長 福嶋 尚人 / 幹事 大森 康正
創立 1971年(昭和46年)6月28日

2014年(平成26年)11月19日 本年度 第20回 例会 通算 2119回 例会
《 例会記録 第19回 (通算2118回) 2014年(平成26年)11月12日 》
会員数64名 出席免除会員3名 出席37名 欠席24名 出席率60.66% 前回修正78.00%

会長の時間・・・会長 福嶋 尚人

ガバナー月信11月号に羽部ガバナーの「クラブ会長様、クラブ幹事様」という表題の記事があり、その一部を紹介いたします。
11月はロータリー財団月間です。財団と言うと多くのロータリアンは寄付を思い出して耳障りだと言わんばかりに拒否反応を起こしてしまいます。何故かと考えますとロータリーは精神的で哲学そのものだといふのでしょ。それが寄付、寄付では駄目だといふのです。ロータリーが創立以来今日まで世界平和を願い、世界で良いことをしようとしたのがロータリー財団でした。
9月14日のロータリーデーとその前後2週間のロータリーウィークで各クラブ或いは各グループで実施されたポリオ撲滅に向けて取り組まれた募金は、使途指定寄付として財団に各クラブ名で送金されました。ご協力に感謝申し上げます。
ロータリーはこの数年変革が著しいと感じます。2000-2001年度にはDLPが試行され、2004年度の理事会はCLPの検討に入り、当地区では5年前から議論が進められて参りました。CLP採用を採択して耳慣れた感がありますが、充分理解が進んでいるとは言えないでしょう。このプランは未来のロータリーを支えるプランとなる予感がします。

奉仕は、ただ施すのではなく綱領にもあるように、ロータリーは奉仕の実践哲学だと思ひます。わが地区ではCLPを地区組織に如何に組み込むかを悩みました。何が悩みになったかは、奉仕プロジェクト委員会をどこまで集約するかでした。検討の結果、職業奉仕を除く社会奉仕と国際奉仕と青少年奉仕を担当する委員会を奉仕プロジェクト委員会にお願いすることにしました。



福嶋会長と大森幹事

以上のように、羽部ガバナーのお考えの一部をご紹介しましたが、記事の最後に皆様の善意をロータリー財団にお寄せくださいということが書かれております。

幹事報告・・・幹事 大森 康正

- 洲本、えりもRCより会報が届いております。
- ロータリー財団概要が届いております。
- 「2017-18年度ガバナーノミニ候補者推薦のお願い」が来ております。
- 「SAKUJI作戦」推進のお願いが届いております。
- 「ジャパン・ロータリーデー II in東京」開催のご案内が届いております。

委員会報告

にこにこボックス

◎親睦活動委員会(富岡豊委員長)

- 長濱 和也 会員 : 孫誕生
- 四ツ屋義道 会員 : 「広げようShizunai元気の輪」開催(静内料飲店組合)
- 山口 俊秀 会員 : 囲碁大会優勝。日台親善訪問の際に洪學樑(元RI会長代理)夫妻と会食。

◎社会奉仕委員会(河原秀幸委員長)

・本日1時30分から二十間道路桜並木で行う枯れ枝、折れ枝の回収奉仕についての集合場所、服装等の連絡。

二十間道路桜並木管理作業 (社会奉仕委員会)

● 二十間道路・花のトンネル～家畜改良センター事務所交差点間の枯れ枝、折れ枝の回収作業風景

